



越前「和紙の里」めぐり

伝統の技と美しい自然に触れる散歩道

ご予約お問い合わせは

パピルス館

入館無料

TEL.0778-42-1363
FAX.0778-42-2425

■開館時間/9:00~16:00(ショップは~16:30)

■休館日/年末年始のみ(12/28~1/4)

紙の文化博物館・卯立の工芸館

入館料(2館共通)	[常設展]	[特別展開催時]
	200円(150円)	300円(200円)
()内は15名以上の団体料金(要予約)		
障害者手帳をお持ちの方は半額		
高校生以下は無料		

■開館時間/9:30~17:00

紙漉き見学は~16:00 入館は~16:30

■休館日/毎週火曜・年末年始(12/28~1/4)

パピルス館 紙すき体験のご案内

- ◆色紙……500円(1枚)
- ◆はがき……500円(2枚ど)
- ◆はがき……800円(4枚ど)
- ◆カード……800円(2枚ど)
- ◆コースター……800円(6枚ど)
- ◆ランチョンマット……1,000円(1枚)
- ◆ネームカード……1,000円(10枚ど)
- ◆封筒(説明書込)1,300円
- ◆うちわ(キット込)1,300円
- ◆あかり(キット込)2,800円



和紙の里通り

〈紙すき体験20分〉

〈見学20分〉

〈見学20分〉

〈国の重要文化財〉

花筐公園

約1500m

パピルス館

約100m

卯立の工芸館

約100m

紙の文化博物館

約1000m

紙神 岡太神社・大龍神社

横山大観寄道の社標



越前和紙の里

パピルス館

〒915-0232 福井県越前市新在家町 8-4-4
TEL.0778-42-1363 FAX.0778-42-2425

卯立の工芸館

〒915-0232 福井県越前市新在家町9-21-2
TEL.0778-43-7800 FAX.0778-43-7808

紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12
TEL.0778-42-0016 FAX.0778-42-3260

URL <http://www.echizenwashi.jp>

越前

「和紙の里」めぐり

伝統の技と美しい自然に触れる散歩道

越前和紙の歴史・文化資料や、作品を多数展示



紙の文化博物館

紙の文化博物館では、越前和紙の長い歴史を物語る古紙、道具などの資料を展示し、常設展で発祥や歴史について学ぶことができます。また、代表的な和紙や作品も多数展示しています。

職人の紙すき技を伝統家屋で見学



うだつ 卯立の工芸館

江戸時代中期の紙漉き家屋を移築復元しました。伝統工芸士が昔ながらの道具を使って、ちりよりの和紙を漉く様子、乾燥など、和紙が作られる一連の工程を見ることができます。

紙すき体験で、和紙の心に触れてみる



パピルス館

世界中でたった一枚。スタッフの補助で、あなただけの和紙作りが、幼児から大人まで楽しめます。(約20分)

和紙処 えちぜん

館内には、産地ならではの品揃え豊富な和紙や小物などの販売ショップもあります。

紙すきに挑戦!



1 桁(けた)と呼ばれる道具に原料をくみ、均一に漉きます。
2 押し花・染料で好みのデザインをします。センスのみせどころ。
3 余分な水分を吸い取ります。
4 10分ほど乾燥させたら、オリジナル和紙の完成です。

日本で唯一、紙の神様を祀る



紙祖神 岡太神社・大瀧神社

権現山頂上にある奥の院には、岡太神社と大瀧神社の両本殿が建ち並び、両社の里宮として国の重要文化財の下宮があります。岡太神社は、1500年程前にこの里に紙すきを伝えたとされる「川上御前」を、全国で唯一の紙祖神として祀っています。

美しい自然に秘められた歴史の舞台



花筐公園

謡曲「花筐(はながたみ)」の舞台として名高い花筐公園は、桜をはじめとして、さつき、紫陽花、紅葉と四季を通じて美しい自然が楽しめます。継体天皇ゆかりの薄墨桜や皇子ケ池など見どころも沢山あります。

越前和紙の里 アクセスマップ



JR武生駅より、福鉄バス「南越線」北中山公民館行き『和紙の里』下車。

主なルート	越前和紙の里までの	
	恐電博物館より	(約1時間20分)
	永平寺より	(約50分)
	一栗谷朝倉氏遺跡より	(約30分)
	東尋坊より	(約1時間50分)
敦賀インターより	(約50分)	
武生インターより	(約10分)	

お越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車でお越しの際は、相乗り、アイドリングストップにご協力下さい。

